

# 小学校と園がつながる工夫を！



小学校と園がつながることで、どんな**良いこと**があるのでしょうか。あらためて考えてみましょう。

## 子どもにとって

- 交流等を通して、遊びや学びが広がる。
- 自信**をもって主体的に遊びや生活、学習に取り組める。
- 異年齢の子ども同士のつながりができ、**あこがれや他者を思う気持ち**が高まる。



## 保護者にとって

- 教育・保育内容や情報が伝わることで、**安心感**が生まれる。
- 園と小学校の教職員が子どもの情報を共有することにより、園や小学校に**相談**しやすくなる。

## 園と小学校の教職員にとって

- 発達段階・発達過程をお互いに知ること、**子ども理解**につながる。
- 顔が見える連携を進めることで、気軽に連絡・**相談し合える関係**となる。
- お互いの保育教育内容や支援方法を共有でき、**相互理解が進む**。
- 校区の子どもを**みんなで育てる**という意識が高まり、情報交換しながら**共通実践**することができる。



これらのことを実現するために、**幼保小連携担当者を中心に今できること**から始めましょう。



## 例えば…

### 園・小学校に写真を掲示



園の先生方をご存じですか？

園の〇〇先生に気になるあの子の事を聞いてみよう。



### 園便りの掲示コーナー作成



園のお便りは届いていますか？  
小学校のお便りは届けていますか？

園でも自然物を使った遊びを経験しているんだな。1年生の子どもたちに園でどんなことをしたのか聞いてみよう。



顔が見える連携を進めることで、気軽に連絡・相談し合える関係となります。



園の活動を知ることで、幼児期の**学びをふまえた**小学校教育への意識が高まります。

幼保小の円滑な連携・接続の為に、年度当初の教職員の「つながろう」とする意識や工夫が大切です。

【参考資料】

幼保小接続ハンドブック「育ちと学びをつなぐ」(H30. 3鳥取県教育委員会)



次の一手を  
考えたいときは…

NEW

## 「幼保小接続アドバイザー」を派遣します!!

(例) 幼保小連携・接続に関する研修

- スタートカリキュラムは編成しているけれど、見直しをしたい。
- 園と小学校との合同研修会ではどのような協議を行えば効果的なの？
- 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指導の工夫とは、具体的にどんなことが考えられるの？

幼保小接続アドバイザーが相談にのります!

詳しくは、西部教育局ホームページをご覧ください。

